

■調所広郷(笑左衛門) 藩政家。茶坊主から拔擢、藩の巨額の借金を解消して、家老にまでなるも、琉球密貿易露見で自殺。
ずしよひろさと
雨月物語刊・1776＝ 鹿兒島城下の堂の前に川崎主右衛門の次男として生まれる。

蝦夷初調査・1785＝ 9歳：
田沼意次失脚1786＝10歳：
寛政改革始・1787＝11歳：父が死去。
・・・・・・1788＝12歳：調所清悦の養子となる。
初の横綱・・1789＝13歳：養父が死去。
異学の禁・・1790＝14歳：養父の跡を継いで、表茶道となる。
ヲクサン来日・ 1792＝16歳：実母が死去。
松平定信引退1793＝17歳：

オランダ 正月・ 1794＝18歳：

古事記伝・・1798＝22歳：初めて江戸へ出て、重豪付き奥茶道(茶坊主)となり、高輪藩邸に入る。

伊能測量始・1800＝24歳：初めての休暇帰国。この時結婚か。

アメリカ船来航始1803＝27歳：
イザノ来航・ 1804＝28歳：養母死す。斉興付きとなり芝藩邸に移る。

イザノ報復・ 1806＝30歳：泉岳寺大火で藩邸類焼の際、奮闘する。

ゴロブニノ拿捕 1811＝35歳：茶道頭となり、斉興の初入部に随行。
高田屋拿捕・1812＝36歳：

以後、次々と昇進する。

杉田玄白没・1817＝41歳：この前後に再婚、子供がも次々とできる。
水野忠成老中1818＝42歳：

伊能図完成・1821＝45歳：

シボム事件・1828＝52歳：島津重豪より財政改革主任を命ぜられる。広郷と改名。
シボム追放・1829＝53歳：*帰藩して改革に着手。経済学者佐藤信淵の意見を聞き、出雲屋孫兵衛ら経済専門家を配下に集め、
富籤流行・・1830＝54歳：

以後10年間に50万両の貯蓄、50万両のほかに平時ならびに非常時の手当金の貯蓄、500万両の古借証文の回収などを命ぜられる。

偽金の密造や琉球国利用の中国密貿易をも敢行し、

・・・・・・1836＝60歳：*大坂、江戸の借用証文を取り上げ、250年賦無利子払いに切り替えるなど、いずれも成功を収め、
大塩平八郎乱1837＝61歳：
適塾オープン・1838＝62歳：*家老に進む。
蚕社の獄・・1839＝63歳：

その後も木曾川改修や新田開発など諸事業を実施、改革で生じた問題への対策などを講じていたが、

阿部正弘首座1845＝69歳：

・・・・・・1848＝72歳：*露見した琉球密貿易の責任を負って、服毒自殺した。